

## 非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究

### ～日本型教育先進地エジプトにおける Tokkatsu の効果検証～

#### 2023 年度中間報告書

令和 5 年 10 月 18 日

いずれの活動も 12 月 23 日～12 月 31 日のエジプト滞在期間中に主たる調査・イベント等を実施するため、それに向けて準備を進めている段階である。調査研究チームを 4 つに分けて、一次資料を含めた文献調査、既にある学級会等のデータ分析、インタビュー項目の作成などを実施した。現在は、筑波大学人間系研究倫理委員会に提出する倫理申請（調査のために必須）の書類作成を進めている。また、全体会議を 7 月 16 日と 9 月 18 日に開催し、各チームの進捗状況を確認した。また、活動③については、エジプト側と Tokkatsu ディプロマの作成について協議を進め、認証に向けたコンソーシアムの形成に向けて一定の前進を得た。また、活動④については、カイロ日本人学校とエジプト日本人学校の教員による合同での公開授業・授業研究会の実施に協力した。

活動①	<p>8 月 20 日と 9 月 23 日にチーム会議を行い、360 度カメラで録画された小学校 2 年生の学級会動画を、逐語記録に基づいて分析した。Tokkatsu 導入初期の 2019 年の実践ではあるが、教員の介入する割合が大きいなど、日本との違いが明らかになった。今後、現在の学級会との質の違いを、授業分析の手法を用いて明らかにする予定である。</p> <p>また、12 月に実施するエジプトでの現地調査の準備を行い、評価型参加の手法である MSC (Most Significant Change) の実施方法について議論した。その結果、Tokkatsu を通じた児童の成長をテーマに、教職員・教育行政関係者・保護者との意見交流の場を設けることが決定された。</p>
活動②	<p>9 月 6 日と 9 月 18 日にチーム会議を行い、『EDU2.0 に基づく Tokkatsu 実践ハンドブック』『EJS Tokkatsu Teacher's Guide』『エジプト国における Tokkatsu 研修・認証制度 (TTCS) パイロットプロジェクト報告書』など 6 種類の一次資料を分析し、エジプトにおける Tokkatsu および教員研修制度の特徴について明らかにした。</p> <p>また、12 月末のエジプト現地調査に向けて、教師 (Tokkatsu の捉え方、Tokkatsu 導入・実践、Tokkatsu の成果、家庭・地域・多機関との連携、の 4 領域)、児童、指導主事 (Tokkatsu Officer) に対するインタビュー・ガイドを作成した。また、インタビューの実施に向けて、エジプト日本学校プロジェクト管理部と調整を続けている。</p>
活動③	<p>9 月 7 日に、EDU-Port 調査研究事業チーム、EJEP 事務局、E-JUST 等との会議が開催され、Tokkatsu ディプロマの開発について協議した。現時点で、コース概要案、前期・後期・夏学期の 15 コマずつの講義・実習名素案、ディプロマ開発作業工程案、ディプロマを含む人材育成等の将来イメージ案の作成が、完了している。</p> <p>また、ディプロマ開発をテコに、教育学部の教員養成課程に基礎 Tokkatsu の必須科目を</p>

	<p>設けることも盛り込んだ説明資料を作成し、エジプト最高大学評議会教育学分科会の委員長を含む、5 国立大学の教育学部長に対し、9 月 12 日にプレゼンテーションを行った。さらに、ディプロマに関心を持つ大学の組織化（コンソーシアム形成）の準備を進めている。</p>
活動④	<p>9 月 18 日にカイロ日本人学校（CJS）において、小学部第 1・2 学年の学級活動の公開授業（題材名：「ばい菌バイバイ！手洗い名人になろう」）が開催され、エジプト日本人学校（EJS）の教員も参加した。授業後には、CJS と EJS の教員による合同の授業研究会（レッススタディ）を実施し、EDU-Port 調査研究事業チームのメンバー 3 人がコメントーターを務めた。</p> <p>また、9 月 14 日と 10 月 6 日にチーム会議を開催し、12 月にエジプトで行う、CJS と EJS の教員交流会の内容について検討した。その結果、集団あそびをテーマとする模擬学級会（話合いの直後に実践を行う HALF &amp; HALF 形式）を実施することが決定し、現在、準備を進めている。</p>
活動⑤	<p>調査・研究の中間報告は、1 月に実施予定である。</p>